

## 指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP-P2-19
研究課題名	試行調査；慢性骨髄性白血病剖検例における BCR-ABL1 同定および ABL1 変異検索
研究責任者（所属）	吉田稚明（放射線影響研究所）
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的： 原爆被爆者では、がんの罹患リスクが増えています。中でも白血病は特に放射線被曝により発症する割合が増える疾患と考えられています。白血病は遺伝子の異常が蓄積することで発症することが明らかになりつつありますが、原爆放射線被曝による白血病の発症機構は不明です。今回の解析では、1950 年から 1980 年までに原爆被爆者に白血病として最も多く発症した慢性骨髄性白血病に注目し、原爆放射線被曝による白血病発症機構の解明を目指します。これらの結果は、今後放射線被曝者の医療において白血病早期診断マーカーとして用いることができる可能性があります。 利用方法： 慢性骨髄性白血病と診断され、当所で剖検された試料について病理学的再評価を実施し、それら試料から DNA および RNA を抽出します。そして、慢性骨髄性白血病で現在認められている遺伝子異常の有無について評価を行います。調査対象者は匿名化され、個人が特定されることはありません。
他の機関への提供の有無	☑有（提供先機関：久留米大学医学部、広島赤十字・原爆病院） 白血病の診断には血液病理専門医の協力を得る必要があります。当研究所で病理標本作製したのちに、画像をデジタル化します。それらデジタル画像を上記機関の血液病理専門医に評価してもらいます。調査対象者は匿名化され、その他の個人情報は提供されることはありません。剖検試料、病理標本スライドが提供されることはありません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	情報：当研究所で作製した病理標本のデジタル画像

<p>利用する者の範囲</p>	<p>放射線影響研究所  吉田稚明  杉山裕美  加藤直広  吉田健吾  小笹晃太郎  今泉美彩  大石和佳  久留米大学医学部  大島孝一  広島赤十字・原爆病院  藤原 恵</p>
<p>試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>吉田稚明 (放射線影響研究所)</p>
<p>統括個人情報保護管理者</p>	<p>放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p><b>【研究担当者】</b>  氏名：吉田稚明  公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部  住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号  TEL：082-261-3131</p>